



2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ **ロータリーの未来はあなたの手の中に**

事務局・例会場	鹿児島東急イン	会 長	松田 泉
〒890-0053	鹿児島市中央町5-1-9F	会長エレクト	前田 正幸
	TEL 090-5295-2736	幹 事	井川 良仁
	FAX 099-251-5290	編 集	会報・広報委員会
例会日	毎週木曜日	12:30～13:30	
Eメール	kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ http://www.ri2730.org/southern/		

Vol. 14-36

第610回例会 平成22年4月8日(木) プログラム「会員卓話 松下和裕君 細則の変更」

前回第609回例会[4月1日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】 会長 松田 泉

明後日4月3日が我がクラブ第13回創立記念日ですが、今期も余すところ3ヶ月となり、次年度も準備が始まっております。今期のまとめをしっかりとやりたいものと思っております。

さて、先日の3クラブ合同例会でも少し触れましたが、3月18日～22日まで井岡、井川、梅木、小山田、下前、日高、百崎、森迫、柳橋各氏と私の計10名でタイに行って参りました。井岡、日高さんはタイでの合流でした。目的は友好盟約を結んでいるケンクーンRC（コンケン市）の進めている「子供と家族のための図書館プロジェクト」に協力した今年度の寄付により購入された図書が実際に現地でどのように役立っているかの確認のためです。バンコクに着いた日の夜、友好盟約を結んだ時（永田会長期）からお世話になっているスペインソ智江美さんの招待でピチャイ・ラタクル元RI会長も出席され会食をしました。次の日、スペインソさんにも同行頂き、コンケン市に行き、プロジェクトに大変尽力されているケンクーンRCのソムチャイPGや現会長、幹事他数名の会員と2個所の図書館のある学校に行き、それぞれ企画されていた贈呈式に出席しました。一つはタイ系の小規模校でしたが、子供たちの現地の楽器を使っての踊りの披露や、果物などの心のこもった歓待を受け、手作りの感じの贈呈式でした。また絵本を読む先生の教育も実施しているとのことで、実際に読み聞かせを子供にしているところも見学しました。子供たちの生き生きとした眼の輝きが印象的でした。もう一つは中国系の結構大きい学校でしたが、制服姿の大勢の先生方が出席され、日本でよく行われているようななきちんとした贈呈式でした。このような贈呈式は想定外でしたのでスピーチなど準備していなかったのですが、急遽話すこととなり、拙い英語でスピーチしました。通訳（タイ語、日本語？）のソムチャイPGやスペインソさんの意識で救われたと思っています。今回はコンケン市に泊まらない行程でしたので、その後ケンクーンRCの招待で数名の会員と夕食をともにし、コンケン市を後にしました。残りの日は観光となりましたので、タイの寺院や水上マーケットの見学やタイの古式マッサージを堪能しました。予め心配したデモによる混乱の影響も殆んど無く大変楽しい旅でした。映像も合わせた詳細の報告は6日のロータリー大学で企画されています。

タイとのやり取りに大変苦勞され、またこのような行程を企画頂いた小山田国際奉仕委員長とタイに詳しく“团长”と呼ばれた柳橋さんに心からお礼申し上げます。また参加協力頂いた会員の方有難うございました。多くの会員がロータリーのいろいろな行事にご都合の良い時は参加され、楽しまれることを是非お勧めします。

【会務報告】 幹事 井川良仁

- ① ロータリーの友、ガバナー月信4月号をお取り下さい。
- ② 来週例会（4/8）後、定例理事会を行います。
- ③ 鹿児島市内RC会長・幹事会が4/8(木)18:30～東急ホテルにて行われます。

【ゲスト】2009～2010年度 GSE 派遣 (RI. D1430 フィンランド)メンバー 松尾志保さん(当RCがスポンサー)

H22年4/10(土)～5/9(土)フィンランドへ研修に行つて参ります。研修期間中は下記のブログにて状況をご紹介する予定です。是非ご覧下さい。

<http://gse2730.exblog.jp/>



《次回（第611回）例会のお知らせ》
 日時：H22年4月15日（木）12：30～13：30
 場所：東急イン2F
 プログラム：会員卓話 早川孝一君
 内田修友ガバナー補佐訪問

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2009～2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう！」

【プログラム】会報・広報委員会担当 松田圭委員長

R I 細則に従って、本クラブが R I 理事会によって、本条規定の適用を免除されていない場合、各会員は、会員身分を保持する限り R I の機関雑誌または R I 理事会から本クラブに対して承認並びに指定されている地域的なロータリー雑誌を購読しなければならない。購読の期間は、6 カ月を 1 期として取り扱い、本クラブの会員となっている限り継続し、1 期中途で会員でなくなった場合にはその期の末日をもって終わるものとする。(標準ロータリー・クラブ定款 第 13 条 第 1 節 購読義務)



幅広い奉仕をするために、自分の所属するクラブばかりでなく、自分のクラブのある地区ばかりでなく、そして、自分の国ばかりでなく、世界中のクラブの活動やロータリアンのことを知らなければなりません。もちろん、世界の各地に出掛けて、多くのロータリアンに会い、いろいろな活動を見るのが一番いいのですが、それは簡単にできることではありません。ロータリーの雑誌を通して、幅広く情報を入手し、それを実際の活動に生かしてください。

「ロータリーの友」50年の歩み



左から開けると縦書き、右から開けると横書き。ロータリアンになって初めて『ロータリーの友』を手にしたとき、何だか変な雑誌だと思われた方もいらっしゃるでしょう。創刊当初は、すべて横書きでした。これは、当時のすべてのロータリアンにアンケートをとり、その結果、決まったことです。

その後、俳壇、歌壇といった横書きでは都合の悪い欄もできて、縦書きのページも交ざるようになりました。現在のように、横書きと縦書きがはっきり分かれたのは、1972 年 1 月号です。そのときの表紙は、陣羽織を前から写したものと後ろから写したもの。まさに、両方が表紙という特徴を生かしたすばらしいものでした。

横書きと縦書きの違いは？ 原則的には、横書きは、R I の方針や地区、クラブの活動を紹介など、いわばロータリーの公式の活動を紹介しています。一方、縦書きは、会員のコミュニケーションの場、基礎知識を広めてもらう場として、皆さま方からいただいた投稿を中心に掲載しています。

(上 左から 1953 年 1 月号 (創刊号)、1960 年 11 月号、1965 年 5 月号、

下 左から 1970 年 2 月号、1972 年 1 月号 (縦書き・横書きに分かれた第 1 号)、1987 年 1 月号、2001 年 11 月号、2002 年 7 月号 (リニューアル第 1 号))

次の 50 年に向かって

創刊 50 周年を迎えるに当たり、これまでの良い伝統は継続しながら、新しい 50 年のスタートにふさわしい新鮮な「ロータリーの友」とは。2007 年 7 月号から誌面を一新しました。(ロータリー・ジャパンより)

出席報告	会員数	出席	出席率%
第 609 回 4 月 1 日 (木)	51 (49)	32	65.31
第 607 回 3 月 11 日 (木) 訂正	51 (50)	45	90.00

市内他 RC プログラム ★例会時間・場所等の変更 (記帳受付あり)			
月 日 曜	RC	プログラム	例会場
4 月 9 日 (金)	鹿児島 RC	★4/7(水)視核会 18~20:30 城山観光ホテル ホルトに変更	山形屋
4 月 12 日 (月)	中央 RC	会員卓話 重久善一君 ロータリー情報委員長	山形屋
4 月 13 日 (火)	東南 RC	クラブフォーラム 新世代委員会	サロイホテル
4 月 13 日 (火)	城西 RC	★クラブ定款に基づく休会	東急イン
4 月 14 日 (水)	南 RC	外部卓話 かごしま環境未来館 塩川哲郎様	サロイホテル
4 月 14 日 (水)	西 RC	ゲスト卓話 (株) フジドリームエアラインズ 営業一部 部長 青山修一様	山形屋
4 月 14 日 (水)	西南 RC	内田修友ガバナー補佐訪問・卓話	ゆうづき
4 月 15 日 (木)	東 RC	早朝例会 午前 6:30 平田公園清掃 午前 7:00 例会ロイヤルホスト	山形屋
4 月 15 日 (木)	北 RC	クラブフォーラム (会報雑誌・広報委員会)	東急ホテル